

男の子たちはぶっきらぼうだけど、本当に親切でした♡

2011年度前期課程修了生 大西 美香子さん

初めは、学内で孤立することが心配だったということですが？



わからないことばかりで困りましたね。学生からみたら、親と同じ世代ですから、無視してもいいわけですよ。でも同期の男の子たちが、もう本当に優しく♪ パソコンでの履修登録などいろいろと助けてもらいました。もちろん今でも友達ですよ。仕事や研究のことなんかも話します。

ご家族は大学院へ進むことに、何とおっしゃっていましたか？



反対はなかったですね。協力的でしたよ。娘は「あっ、そう」って。修了式には「めったにないことだから」と来てくれました。主人も「僕も行こうかな」と言って、来てくれたんですよ♡

どんな授業が印象に残っていますか？



平松正行先生の脳のお話しや、片山正人先生の添加物のお話しなどは、本当にいいお話しで、ためになりましたね。

大西さんにとって「文理融合」とはどのようなものですか？



実際、すごく難しいと思いますね。文系から見て、絶対近づけない理系の部分ってあるし。「一緒にやっていく」というぐらいの意味でしょうか。ただ、理系の人と接することができたのはよかったです。

最後に、後輩へのメッセージをお願いします。



素晴らしい指導者がいらっしゃるのので、ぜひ自分のやりたいことを見つけて、研究を進めていって欲しいと思います。頑張ってください！



聞き手：学務センター 浅井幸子